

【目標達成計画】

作成日：平成 31年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2,35	日々の挨拶や、地域の行事への参加を通じて施設の存在は認識していただいているも、災害時の対応や協力要請等の防災的視点でのつながりはできていない。	地域と連携を深め防災的な視点でも交流をもって有事の際の協力体制をつくる。	地域の防災訓練にも施設として参加をする。また、施設で行う防災訓練に地域の方も参加していただく。	12ヶ月
2	3	事業所内で職員対象に認知症についての研修や対応についてミーティングを行っているが地域の方々に向けては行えていない。	ふれあい佐野で主催し地域の方々に向けて認知症への理解・支援方法を発信してゆく。	運営推進会議等で地域の方々に向けた認知症ケアについての勉強会を開催する。	12ヶ月
3	10	運営推進会議内でいただいたご意見や日々管理者が直接受けたご要望等を改善提案報告書として記載しているが、現場での細やかなご意見ご要望を中々抽出できていない。	どんなに小さなご意見・ご要望もきちんと汲み取り対応とその後の対策を職員間で共有しより良い事業所運営に努める。	毎月会議内にて改善提案報告書として報告できていない事項はないか確認を行い、より多くのご意見・ご要望の汲み取りを行う。	12ヶ月
4	14	管理者、ケアマネは地域の会議や勉強会で同業他社との交流をもっているが、その他職員は中々交流の機会ももてていない。	同業他社との交流を通じて自事業所を客観的な目線でもみる事でより良い事業所運営に努める。	地域の会議や勉強会に職員も率先して参加して同業他社の方々との交流を持つ。	12ヶ月
5	8	様々な制度や使える資源等を知る機会がなく活用できていない。	管理者やケアマネだけではなく職員も様々な制度を知り活用してゆく。	研修や勉強会を通じて様々な制度を学び、ご利用者様の支援に活かしてゆく。	12ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。